

試験日： 年 月 日	担当者：
検体名：	ロット：

■一般生菌数

CFU/g (mL)

培地名：

培養条件：

コンパクトドライに発生した集落数を記入してください。

	試料の希釈倍率と集落数			
	10 倍	100 倍	1000 倍	10000 倍
1 枚目	個	個	個	個
2 枚目	個	個	個	個

集落数が 30～300 CFU の範囲にあるコンパクトドライは 倍

その希釈倍率での集落数 1 枚目 2 枚目 平均値

平均値×希釈倍率

※得られた値の上位 3 桁目を四捨五入にて（有効数字は 2 桁）、食品 1g (1mL) あたりの菌数として表示します。

最小希釈倍率の菌数が 30 個以下の場合、最小希釈倍率（10 倍）に 30 を乗じて $10 \times 30 = 300$ とし、菌数は、 < 300 あるいは $< 3.0 \times 10^2$ CFU/g と表示します。

最小希釈倍率の菌数が 30 個以下の数値も参考値として記載してください。

■大腸菌群数

CFU/g (mL)

培地名：

培養条件：

コンパクトドライに発生した集落数を記入してください。

	試料の希釈倍率と集落数			
	10 倍	100 倍	1000 倍	10000 倍
1 枚目	個	個	個	個
2 枚目	個	個	個	個

集落数が 30～300 CFU の範囲にあるコンパクトドライは 倍

その希釈倍率での集落数 1 枚目 2 枚目 平均値

平均値×希釈倍率

※得られた値の上位 3 桁目を四捨五入にて（有効数字は 2 桁）、食品 1g (1mL) あたりの菌数として表示します。

最小希釈倍率の菌数が 30 個以下の場合、最小希釈倍率（10 倍）に 30 を乗じて $10 \times 30 = 300$ とし、菌数は、 < 300 あるいは $< 3.0 \times 10^2$ CFU/g と表示します。

最小希釈倍率の菌数が 30 個以下の数値も参考値として記載してください。

■大腸菌数

CFU/g (mL)

培地名 :

培養条件 :

青色～青紫色集落が形成された場合、集落数をカウントしてください。

■黄色ブドウ球菌数

CFU/g (mL)

培地名 :

培養条件 :

水色～青色集落が形成された場合、集落数をカウントしてください。

※すりガラス状の薄い水色集落が発生した場合は、陽性としません。

結果データの記入手順

- ① コンパクトドライの各希釈倍率の集落数を記入します。
+ : 300 個以上の集落数
- : 菌の発育が認められない
- ② 希釈倍率と 2 枚のコンパクトドライの結果から平均値を算出し、平均値と希釈倍率をかけ合わせます。
- ③ ②で得られた数字の上位 3 桁目を四捨五入して、上位 2 桁を有効数字として表示し、食品 1 g (1 mL) 当たりの報告菌数として記載します。

CFU (Colony Forming Unit) : 生菌数の単位、集落数